



## カケハシ・プロジェクト（招へいプログラム）の記録 対象：日系青少年招へい第2陣（米国）

### 1. プログラム概要

米国から日系の青少年及び引率者 66 名が 2020 年 2 月 26 日～3 月 4 日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。講義、視察、日本人との交流などを通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

#### 【参加国・人数】

米国：66 名

#### 【訪問地】

東京都，千葉県，神奈川県，岩手県

### 2. 日程

|         |   |  |
|---------|---|--|
| 2/26(水) | 来日  |  |
| 2/27(木) | 【オリエンテーション】<br>【学校交流】神田外語大学                   |  |
| 2/28(金) | (1) グループ A：岩手県                                | (2) グループ B, C：岩手県                              |
|         | 【視察】浜離宮<br>【視察】海外移住資料館<br>東京都から岩手県へ移動         | 【視察】海外移住資料館<br>東京都から岩手県へ移動                     |
|         | 【表敬訪問/地域概要講義】久慈市産業経済部観光交流課長<br>久松 希美子氏        |  |
| 2/29(土) | 【文化体験】柔道・書道（三船十段記念館）<br>【視察・体験】久慈琥珀博物館        | 【文化体験】座禅（長福寺）<br>【視察・体験】久慈琥珀博物館<br>【ホームステイ対面式】 |
| 3/1(日)  | 【視察・体験】有限会社谷地林業<br>【文化体験】座禅（長泉寺）              | 【ホームステイ】                                       |
| 3/2(月)  | 【文化体験】もちつき<br>【ワークショップ（報告会準備）】<br>【ホームステイ歓送会】 |  |
| 3/3(火)  | 岩手県から東京都へ移動<br>【視察】皇居<br>【表敬訪問】尾身朝子外務大臣政務官    |  |

|        |                 |
|--------|-----------------|
|        | 【成果報告会】         |
| 3/4(水) | 【視察】お台場<br>【離日】 |

### 3. プログラム記録写真

全グループ（東京都，千葉県，神奈川県）



2/27【学校交流】神田外語大学



2/28【視察】海外移住資料館



3/3【表敬訪問】尾身外務大臣政務官



3/3【成果報告会】

グループA（訪問地：岩手県）



2/29【文化体験】柔道・書道（三船十段記念館）



3/1【視察・体験】有限会社谷地林業

グループB,C (訪問地：岩手県)



2/29【文化体験】座禅（長福寺）



3/1【ホームステイ】

全グループ (岩手県)



2/28【表敬訪問/地域概要講義】久慈市産業経済部観光交流課長 久松 希美子氏



2/29【視察・体験】久慈琥珀博物館



3/2【文化体験】もちつき



3/2【ワークショップ（報告会準備）】

4. 参加者の感想（抜粋）

グループA

◆ 久慈市の地域概要講義を通して、市の様々な魅力を事前を知ることができたので、訪問に向け期待が高まりました。久慈市が震災で多大な影響を受けたとは知りませんでした。市民の方々が一丸となって復興を成し遂げたことに感動しました。学校交流で

は私たちの日系人としての経験や歴史を分かち合うことができ、話を熱心に聞いてくださった学生の皆様に感謝しています。日本の大学についても意見交換できればさらに良かったと思います。谷地林業の視察では、会社や仕事の内容を聞きながら社員の皆様と触れ合うことができ良かったです。久慈では琥珀博物館、柔道、習字、寺での座禅など様々な文化経験ができ有意義でした。改めてお世話になった関係者の皆様に声を大にしてお礼申し上げます。

◆ 久慈市民の方々が目覚ましいスピードで震災後復興を実現したことに驚きました。また日本で自然災害がこれほど頻繁に起こっている事に驚きましたが、だからこそ復興するスピードが速いのだと思いました。また地元の特産品の生産強化の取り組みにも感銘を受けました。学校交流の際に訪問した多言語コミュニケーションセンターでは建物が国や言語に合わせて再現されていて、とても興味深い場所でした。また校舎がとても清潔で、学生の皆様と日系人の家族の歴史について意見交換ができ、有意義でした。視察した谷地林業では地元の方々のお手伝いをさせていただき、自分にとって最も印象に残った訪問でした。大いに歓迎して頂き、彼らの仕事場での交流をとおして久慈市をより理解し、日本の人々と交流を深めることができました。ホームステイの代わりに岩手のホテルに宿泊しましたが、良い体験でした。おかげで自由時間に街を散策し、お店やレストランに入るなど、自然と楽しめました。

## グループB

◆ 久慈市の地域概要講義に加え、市の文化や見どころを紹介するビデオを拝見したことにより、興味津々な状態でホームステイにのぞみました。東日本大震災や津波からの被害、復興の難しさにつき学びました。神田外語大学はきれいで、同大学の多言語コミュニケーションセンターでは、文化の多様性や英語教育に力を入れている事がうかがえました。ホームステイでは久慈市民が久慈をこよなく愛している事を知り、米国ではなかなかお目にかかれない食べ物をたくさん食べさせていただきました。ホームステイが一番の思い出と言っても過言ではありません。再び日本を訪問し、日本語で会話ができるよう、もっと日本語を学びたいと感じました。

◆ 神田外語大学では、とても楽しく日本の教育システムについて学ぶことができました。大学校舎のデザインや施設が充実していることに感銘を覚え、学生との話し合いも楽しいものでした。ホームステイは新鮮な体験でした。私たちが滞在したホストファミリーは丁寧に日本についていろいろ教えてくれました。様々な日本料理を学び、試作することができてとても楽しかったです。うどんの伝統的な作り方を教えてもらい、SNSで発信しました。アメリカにいるたくさんの友人から、日本に来たいとの反応がありました。日本人が持つ価値観を学び、平和で美しい環境での滞在を満喫しました。

## グループC

◆ 久慈市の地域概要講義では市の歴史や市が描く未来について多くを学ぶことができました。講義では久慈の食べ物、文化や地域社会についても教わりました。神田外語大学では素晴らしいキャンパスを視察するとともに交流を楽しむことができました。私は

工学専攻なので、建物のデザインに惹かれました。海外移住資料館は大変興味深かったです。私の曾祖父母のサトウキビ産業での暮らし振りについてよく知ることができました。ホームステイはこのプログラムの中でも非常に素晴らしく、楽しい企画でした。ホストファミリーはとても親切で、私たちを尊重してくれる素晴らしい家族でした。色々なものに触れることができ、厚いおもてなしを受け、幸せでした。

◆ 久慈市の地域概要講義はとても興味深いものでした。やや短めでしたが、短時間で多くの情報を提供してくれました。学校交流は素晴らしく、学生の英会話能力には大変感銘を受けました。彼らと話をし、自分達の家族について語ることができ、実に心に残る体験でした。久慈市長に表敬を受けていただき、大変光栄でした。一番気に入った企画はやはりホームステイです。あのような素晴らしいホストファミリーに迎えていただいたことは一生忘れられません。言語の壁がありつつも、まるで彼らが本当の家族のように感じました。もう一つの素晴らしい経験は禅寺へ行ったことです。禅僧の人達はとても親しみやすく、法要の儀式に参加させていただき、謙虚な気持ちになりました。特に自分の家族が日本出身で大叔母が同じようにしていたことを思うとこの体験がもっと貴重なものとして感じられました。

## 5. 受入れ側の感想（抜粋）

### ◆ ホストファミリー

学生は、礼儀正しく、布団の片付けもしてくれました。お箸の使い方も上手で、好き嫌いもなく、学生の中には、納豆やキムチも楽しんでくれました。

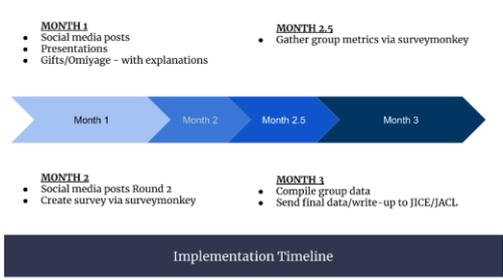
### ◆ 学校交流参加学生

交流では、自分の持っている知識を使って多くのことを伝えられるよう努力しました。最初は、少し緊張しましたが、自分の海外経験を話すと会話が弾みとても有意義な時間を過ぎることができました。もっと日系米国人の歴史などにも興味を持って学んでみたいと思います。

## 6. 参加者の対外発信

|   |   |
|---|---|
|    |   |
| <p>カケハシ・プロジェクトについての発信 (Instagram)</p> <p>カケハシ・プロジェクトのおかげで数日間岩手県に滞在しています。これまで柔道や書道を体験し、琥珀博物館、谷地林業（木炭製造会社）を訪問しました。出会ったすべての人に感謝します。旅のつぎを楽しみにしています。</p> | <p>カケハシ・プロジェクトについての発信 (Facebook)</p> <p>今、日本に来て他の日系人約 60 人とカケハシ・プロジェクトのプログラムに参加しています。外務省での発表から素晴らしい友人作りまで、素晴らしい時を過ごしました。岩手県久慈市でのホストファミリーとの出会いはまるで会ったことのない祖父母に会えたような気分でした。最高のおもてなしを受け、日本語もだいぶ上達しました。ありがとうございました。他の皆も楽しんでいきますように。</p> |

## 7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

|  |  |
|--|--|
|   |    |
| <p>アクション・プランの発表 (グループ A)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カケハシ・プロジェクトは日系人にとって祖先の場所を体験できる一生に一度の経験だった。</li> <li>参加者の多くは日本を訪問したことがなく、カケハシ・プロジェクトに参</li> </ul> | <p>アクション・プランの発表 (グループ B)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 か月後に SNS に投稿し、プレゼンテーションを実施する。お土産を渡し、日本の経験を語る。</li> <li>2 か月後に SNS に 2 回目の投稿を行い、Survey Monkey (オンラインアンケート)</li> </ul> |

|   |  |
|---|--|
| <p>加したことは価値ある機会だった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニティを構築し誇りを生み出した。</li> <li>・ 日本人かクォーターか，日本語が話せるか否かに関わらず，私たちが創り上げるカケハシを通じた日本人・日系人コミュニティが世界中にある。帰国後この大切な学びを忘れることなく絆を強く保ち発信していきたい。</li> </ul> | <p>を使って調査を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 か月半後にを使ってグループの数値化を図る。</li> <li>・ 3 か月後にデータを集計。</li> <li>・ 最終報告書を関係機関に送る。</li> <li>・ SNS で経験を共有する。</li> <li>・ YouTube にビデオをアップロードする。</li> <li>・ 新聞からインタビューを受ける。</li> <li>・ 記事やブログを書く。</li> <li>・ 大学キャンパスにて情報を発信する。</li> <li>・ 友だちや家族に日本のお土産を贈る。</li> </ul> |
|---|--|


Action Plan


---

**INTENTION (目的)**

| CULTURE   | ADVERSITY   | JAACL   |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ Host foreigners</li> <li>◆ Family time</li> <li>◆ Respect</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ Resilience</li> <li>◆ Community coming together</li> <li>◆ Positive mindset</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ Willingness to learn about other cultures</li> <li>◆ Trying new things</li> <li>◆ Sharing our experiences</li> <li>◆ Encouraging others to participate in Kakehasli</li> </ul> |

**アクション・プランの発表（グループC）**

日本人は何をするにあたって、目的を持って行い、何にしても努力の先に目標を見据えていることを学んだ。日本の文化（食べ物，家族，尊敬の心），逆境においても負けない強さ，地域のつながり，前向きな姿勢などについて自分達の周りの地域や大学などで，それぞれのメンバーが帰国後すぐに SNS などを通じて発信する。自分達の経験を伝えることによって皆に他の国の文化を積極的に学び，新しいことにも挑戦することを提唱し，カケハシ・プロジェクトに他の人達も参加するよう促したい。